

合言葉は「触れる」、「知る」、「創る」!

子どもが実際に体験したことを通して自己を成長させていく生活科、自ら設定した課題を自ら考えた方法で解決していく総合的学習の理念や構造を学びます。子どもたちは、実際に「触れる」ことを通して、人・自然・社会のこと、そして自分自身とそれらとのつながりを「知る」ことができます。その経験を基に、自分や他者・自然・社会の未来を「創る」ようになります。本専修では、そのような子どもの生活経験を見取り、伸ばしていく教員の資質・能力を養成しています。

4年間の学び

生活科と総合的な学習の時間の理論と実践を学修し、専門性を高めていきます。生活・総合の理論やカリキュラム論について学ぶ一方で、学生自身が主体的・实际的に「触れる」、「知る」、「創る」活動をしたり、小学校で授業見学・授業検討をしたりする中で培った資質・能力を生かして教材づくり・授業づくりをしています。

特色ある授業・ゼミ紹介

子どもが主役の学びを子どもと触れ合って学びます



時にはキャンパスを飛び出して学校現場で生の授業、子どもの学びの姿に直面します。



大学では学校現場で触れ合った子どもをイメージして、1時間の学びを構成します。



考えた学びは教師の目線で単元化し子どもたちに提供します。

■ 主な授業科目

- 初等生活科教育内容 ■ 生活科教育概論 ■ 生活科カリキュラム論 ■ 幼小連携教育論
- 初等生活科教育法 ■ 生活科教材論 ■ 生活科総合的学習授業論 ■ 生活科教育専門演習

取得できる免許

[卒業要件に含める免許状]

小学校教諭一種免許状

[取得を優先して薦める免許状]

中学校教諭二種免許状^(※)
◎特別支援学校教諭二種免許状

[所定の科目履修で取得可能とする免許状]

中学校教諭一種免許状(中学校二種の教科)
◎幼稚園教諭二種免許状

※ 入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。
できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。
◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 生活・総合専修3年
愛知県立松蔭高等学校出身



わくわくするような遊びや体験を通して、
子どもたちの成長につながる
気づきを与えたい。

生活科は遊びや体験を通して学んでいく教科。そのため、野草を採取してクッキーを作ったり、キャンパスを探検して「不思議」を見つけたり、自分たちで遊びを体験しながら、授業で子どもたちに何を伝え、何を学んでもらいたいかを考えていきます。また、入学間もない4月から、本学へ遠足で訪れる小学生たちと触れ合う機会や、近隣の小学校の児童を招いて授業する機会など、子どもと関わる機会が充実していることも本専修の魅力。将来は、子どもたちにより多くの「気づき」を与えられる教師になることが目標です。

■ 2023年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等国語科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等社会科教育法CⅠ	学校教育におけるICT活用
2時限	初等英語科教育法A	生活科カリキュラム論	学校体験活動Ⅰ		
3時限		生活科・総合的学習授業論	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	日本史概説Ⅰ	
4時限		道徳教育の理論と方法			社会学概論
5時限	キャリアデザインⅡ				

*上記時間割で示した授業科目以外に遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「情報の活用と管理」「学校保健・学校安全」があります。